



# 第70回運営推進会議

## 看護小規模多機能型居宅介護事業所 ケアステーションるぴなす

---

令和7年7月29日

# 第70回運営推進会議

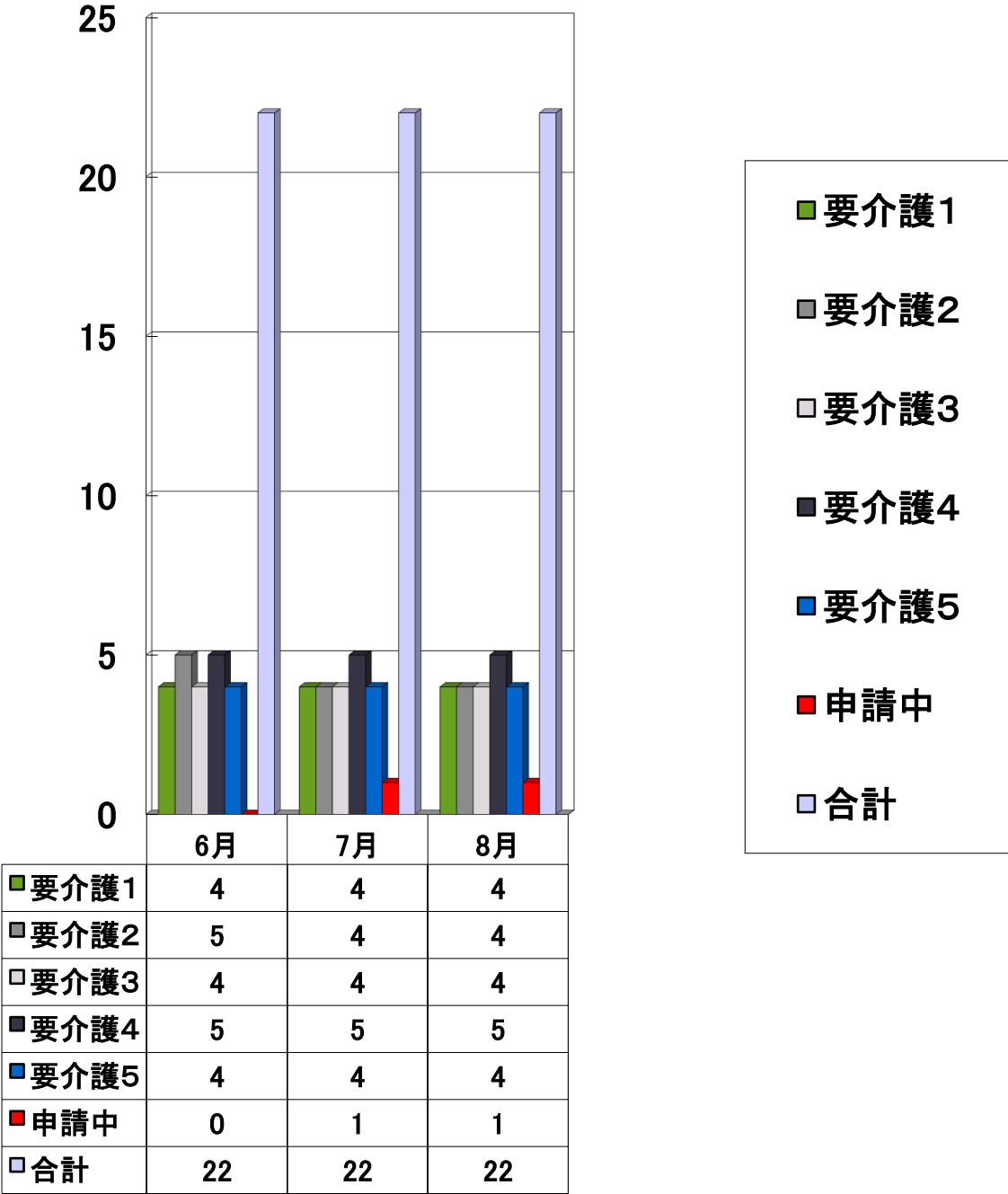
---

- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者
- 活動報告
- 意見交換

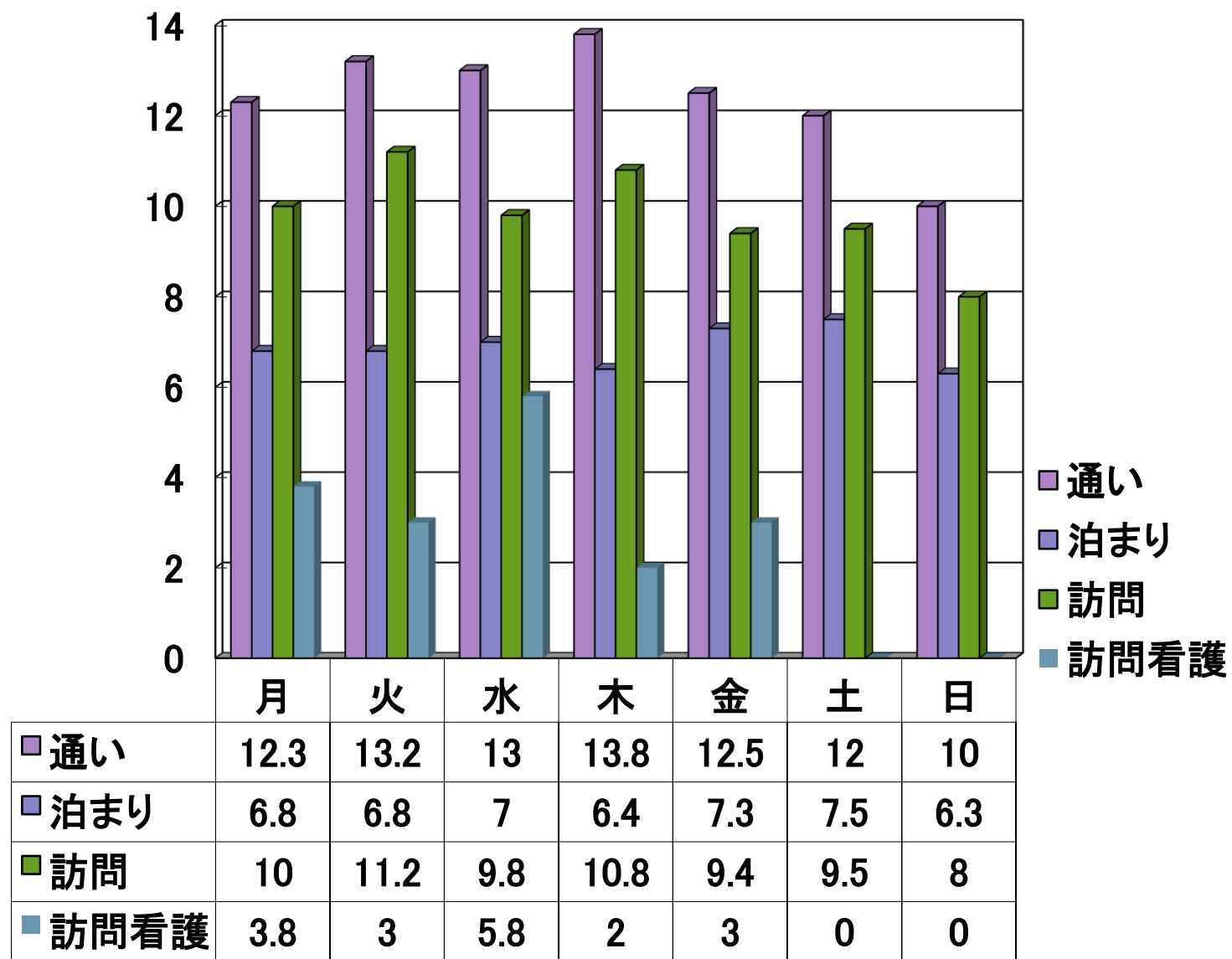


登録利用者数  
令和7年6月～令和7年8月

7月  
平均介護度 3.0



# 令和7年7月 曜日別延べ利用者数



## 第70回運営推進会議

### 看護小規模多機能居宅介護事業所 ケアステーションるぴなす

開催日時：令和7年7月29日(火) 17:00～

出席者：高志2丁目自治会長・岩田様，地域包括支援センター山潟・小石様

ご利用者ご家族・石丸様，法人代表・斎藤先生，法人総務・物江

看護小規模管理者・吉井，計画作成担当・中村

#### 1 はじめに

- ・るぴなすは2007年から小規模多機能、その後看護が加わり看護小規模多機能となり、18年間地域の中でやってきました。これからも宜しくお願い致します。

#### 2、利用状況報告

- ・登録利用者数：22名
- ・通い利用者数：10～14名／日
- ・泊まり利用数：6～8名／日

9名まで泊まれるが、緊急で利用できるよう、できるだけ満員にならないようにしている。

- ・訪問：7～12名／日

以前より訪問ニーズは高まっている。生活スタイルに合わせ、時間は5～10分で行う内容もあり、通常のヘルパーができない事も可能。

- ・訪問看護：2～6名／日

### 3 新規ご利用者

- ・経口摂取量が減り、ショートステイから看護小規模多機能の泊まり利用に移行。訪問看護も入り体調管理をしている。今は食べる量が増え、元気になってきている。息子様と出掛ける機会が多く、一緒に時間を大事にされている。

### 4、活動報告

- ・6月の行事：季節の花をプランターに植えて季節を感じる。外などに飾っている。皆さん花が好きで喜ばれていた。
- ・梅シロップ作り：昔やっていた事で体が覚えているようだ。もうすぐ飲めるようになる。
- ・学生ボランティア：新潟医療福祉カレッジ1年生。若い方に来て頂き、喜ばれていた。
- ・梅干しづくり：写真は干しているところ。
- ・すいか割り大会：叩く事に力が湧くようで、割ろうと頑張られる。その後皆で食べた。
- ・避難訓練、通報・消火訓練：日中、厨房から出火した想定で玄関へ避難。その後消火器の練習。  
自治会の方にも参加頂き、ありがとうございました。
- ・緊急連絡の練習：電話とLINEグループ使用。4時間で職員全員の安否確認ができた。LINEは伝える事を同じく漏れなく伝えられ、電話回線が先に使えなくなると考えると、有効だと思う。

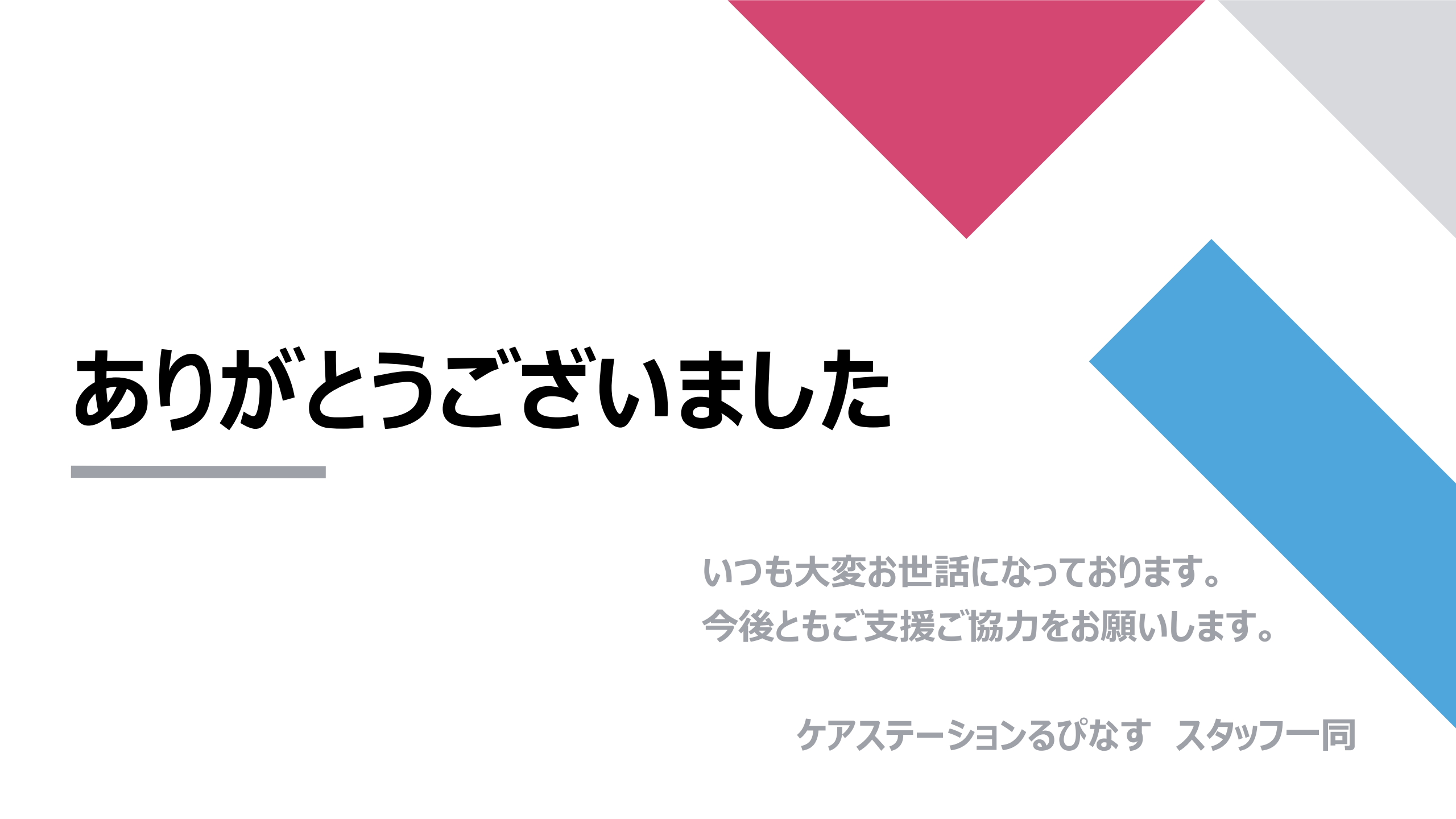
- ・お誕生日のお祝い

### つながりの場づくり

- ・7/25(金)みんなの食堂：こども27名、おとな42名。数多めに用意した。高志中等校の子が多かったようだ、地域教育コーディネーターの方が広めて下さった。お弁当の配布を地域のボランティアさんがお手伝いして下さいました。
- ・夜の茶の間：19名。コロナ後3回目、毎回だいたい20名前後。
- ・8/9(土)にスイカ割り大会を予定している。去年も好評だった。

## 意見交換

- ・地域包括支援センターにも県外の行方不明の情報が結構ある。命に係わる。
- ・民生委員から案内した方いたが、7/24地域包括支援センターによる出張相談が、山潟コミュニティハウスのフリースペースであった。市民病院近くの薬局でも行ったことがある。介護保険の相談など、どなたでも来て頂ける。年に3回行っている。
- ・介護保険の申請方法、内容、当事者にならないとわからない事が多い。制度が分かっているけどどう使えば良いかわからない。申請し、調査センターによる調査、認定までに時間がかかる。サービスを使いたい時に間に合わない事があるので、早く申請した方が良い。医師の意見書も必要。かかりつけ医いないと予約し受診してからになるので時間かかる。健康な時から年1回の健康診断でも良いのでかかりつけ医療機関があると良い。結果が出る前でも、利用回数少なめにし暫定でサービス利用する場合もある。
- ・認知症のある母親、一人で夜外へ出て行方不明になり警察に探してもらってからは、一人にしないようサービス利用している。帰宅後に「帰りたい」「ここは家じゃない」と、家族に暴言あり大変だったので、仕事が終わって19時頃迎えに行くまで時間延長してもらっている。一緒に帰宅し、お風呂、夕食、夜は隣で一緒に寝る様にしている。お陰様で夜出て行こうとする事はなくなった。自分の時間がなく、工夫し始めたところ。夜「帰る」と言ったら、「今日はもう暗いから明日送って行くから」「横になり目を瞑らなくても良いから横になると体が楽になるよ」と、声かけも工夫しており、だいぶ良くなった。斎藤先生より、認知症の周辺症状の薬の使い方、調整し少し穏やかになっている。
- ・すぐ入所を考えがちだが、親子の関係が良いのだと思う。ご家族が側にいてくれ安心なのだと思う。



# ありがとうございました

---

いつも大変お世話になっております。  
今後ともご支援ご協力をお願いします。

ケアステーションるぴなす スタッフ一同